

令和7年産みえの麦生産改善技術情報 第4報

赤かび病が多発するリスクが高まっています！必ず複数回防除を！

注意報（赤かび病）が発表されました

- ・ムギ類赤かび病に係る注意報が発表されました（三重県病害虫防除所・4月22日付）。
- ・赤かび病菌は、開花始期から10日間程度の間が最も感染しやすく、この期間に降雨が続き、気温が高くなると発生が多くなります。
- ・4月10日以降、順次開花が始まっています。また、4月13日から15日にかけて3日連続で雨天となり、赤かび病菌の感染に適した条件が続きました。
- ・【参考】病害虫発生予察注意報 第1号

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001193415.pdf>



今後も感染しやすい気象になる恐れあり

- ・1カ月予報（4月17日、名古屋地方気象台発表）によると、今後1カ月の気温は高く、天気は数日周期で変わる予報であり、今後も感染に好適な条件が続く恐れがあります。
- ・赤かび病が発生すると粒が細くなり減収につながるだけでなく、カビ毒（デオキシニバレノール：DON）が産生され、人体に悪影響をおよぼします。
- ・そのため、食品衛生法によりDONの基準値（1.0mg/kg）を超えた麦は食用として流通することができません。
- ・発生を予防するために、必ず複数回防除を行ってください。

防除適期【1回目 開花始め～開花盛期】→【2回目 1回目防除から7～10日後】

※開花前や、開花後の経過日数が長くなってからの防除では効果が劣ります。

※開花始め=圃場全体の10%程度の穂が開花した時期、開花盛期=圃場全体の80%程度の穂が開花した時期

薬剤はローテーション散布しましょう！

- ・2回目以降の防除は、薬剤感受性の低下を防ぐため、1回目と異なる系統（FRACコード※）の薬剤をローテーション散布してください。

※ FRACコード：殺菌剤の作用機構別に分類したコード

（例）1回目：トップジンMゾル（FRAC 1）
2回目：ワークアップフロアブル（FRAC 3）

FRACコード	主要農薬名 (剤型は省略)
1	トップジンM
3	ワークアップ シルバキュア チルト
7	ミラビス

令和7年 4月 22日
三重県産麦生産改善技術対策会議